

1 消防職員の体力維持に向けて産学官がタッグ

消防職員の定年引き上げ、消防力の維持強化に対応

磐田市消防本部は、職員の定年年齢の引き上げに伴う取組の一環として、産学官の連携協定を締結することにより、大学によるスポーツ科学知見や民間による最新技術を活用し、シニア職員（60歳以上）の活躍推進や持続可能な消防力の維持・強化の実現を目指します。

1 協定締結

日時：10月21日(火) 10時～

会場：磐田市消防署（今之浦二丁目14-2）

期間：締結日から3年間を期間とし、さまざまな連携を行います

2 各主体の役割

《静岡産業大学》

スポーツ科学部の中井真吾教授、宮崎彰吾准教授を中心とし、収集した情報と消防という職業的な性質を踏まえて、身体的・心理的負担を抱える職員の健康維持・増進に関する研究を行います。

《株式会社Canvas》

データ収集システムの構築・運用を行い、消防職員からさまざまなデータを収集し、その結果を分かりやすく整理して消防職員や関係者にフィードバックします。

《磐田市消防本部》

健康行動、勤務状況、熱中症対策意識などの質問調査やウェアラブルデバイスを用いた調査などに協力し、必要な情報を協定先に提供します。協定先から提供された情報は、シニア職員の体力低下や健康不安の解消、モチベーション向上やパフォーマンス維持、全職員の公務災害や熱中症などのリスク回避につなげていきます。

《その他の関係者》

酒井崇宏 氏（龍谷大学）、細川由梨 氏・浅沼富美 氏（早稲田大学）、
小河原慶太 氏（東海大学）、大木学 氏（国土館大学）、
株式会社 Smile JAPAN、株式会社 Cellence

3 今後のスケジュール

時期	内容
令和7年度(1年目)	消防職員の健康、運動に関する実態把握
令和8年度(2年目)	スクリーニングやモニタリングによる課題抽出と予防提案
令和9年度(3年目)	運動支援・教育の基盤構築